

令和6年度 第1回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議【概要】

日 時：令和6年8月7日（水）14時00分～15時00分

場 所：Web会議

出席者：

所属	職名	氏名	備考
埼玉県	企画財政部 政策・財務局長	都丸 久	議長
	産業労働部 産業政策局長	浪江 治	
	企画財政部 北部拠点政策幹	山川 直也	
	産業労働部 産業拠点整備推進幹	北島 義丈	
熊谷市	総合政策部長	増田 和昭	副議長
	総務部長	長谷川 和博	
	都市整備部長	小平 明彦	
	建設部長	山下 克巳	
	総合政策部 企画課 北部地域振興交流拠点担当副参事	持田 保彦	

1 会議の進め方と目的

- ・本日の会議は、北部地域振興交流拠点整備に向けた県と熊谷市の検討状況について情報共有を行うとともに、今後の課題について検討するものである。

2 県及び熊谷市の検討状況に関する主な説明

- ・県では、「北部地域振興交流拠点整備予定地（以下、「整備予定地」という）の利用方法」「地域機関の集約」「事業手法」「産業振興機能」等について検討を進めた。
- ・「整備予定地の利用方法」について、土地の形状や延床面積等から考えられる建物形状や配置について検討を行った。今後、土地の形状のほか様々な建築条件を踏まえながらより具体的な検討を進めていく。
- ・「地域機関の集約」について、今後のDXの進展を見据えたオフィスや仕事のあり方を踏まえ、県民や事業者の利便性や職員の働きやすさの観点から、どの機関を集約すべきか、ゼロベースでの検討を行っている。検討にあたり、北部地域にある地域機関へヒアリングや執務室等の調査を行った。地域機関集約による効果や熊谷市関係機関などとの連携についてさらに研究を進めていく。

- ・「事業手法」について、工期、コスト、民間活力の活用などの観点から比較を行うとともに、民間企業へのサウンディングや有識者へのヒアリングを行った。北部地域振興交流拠点が備えるべき機能の検討も踏まえつつ、最適な事業手法についてさらに検討を行っていく。
- ・「産業振興機能」について、食・農業分野との連携を中心に北部地域の特色を踏まえた産業振興機能について県農林部と検討を進めている。
- ・市では「整備予定地内にある市道等の取扱い」「市役所機能の集約」等について検討を進めた。
- ・「整備予定地内にある市道等の取扱い」について、当該市道の交通量調査を行った。今後、この調査結果のほか周辺住民の意向などを踏まえ当該市道の取扱いについて検討を進める。
- ・「市役所機能の集約」について、市民アンケート等を実施し、本庁舎と3つの分庁舎の集約先や集約する機能についてさらに検討を進めていく。なお、集約する庁舎の規模については、将来の人口推計や職員数、行政サービスにおけるデジタル化の進展を踏まえたものとする。

3 その他

- ・本会議において引き続き検討を進めることとなった事項について、次回会議で進捗を報告することを確認した。